



高知商業高校ジビエ商品開発・販売促進部(ジビエ部)は、2023年で活動6年目を迎えました。「Keep Changing, Keep Challenging ~変わり続け、挑戦し続ける~」をモットーに、今まで彼らは後輩たちにバトンをつないできました。2023年、「ジビエ利活用で循環型社会の実現、持続可能な社会の実現で陸の豊かさを守る」に加えて、「全国と同じ志を持つ高校生とつながり、学び、協働する」ことをテーマに掲げ、この夏、3つの全国規模の活動を通して、多種多様な地域課題に向き合い、活動を続けている他校の取組から新たな価値を学び、高校生同士の大きなつながりにより、社会を変えられるということにジビエ部員は気づきました。

### 1つめの活動 ~全日本鹿協会主催「シカ展 2023 in Atami」~

7月30日(日)、全日本鹿協会が主催する「シカ展 in Atami」が静岡県熱海市で開催され、高知商業高校ジビエ部はオンラインで、部の目的や目標、日々の活動内容および成果発表を行いました。この発表会には、長野県にある上伊那農業高等学校と北海道の中標津農業高等学校も参加していました。3校の共通点は、なんと「鹿ジャーキー」を商品化していること。各校発表後のオンライン交流会では、「北と真ん中、そして南の高校が鹿ジャーキーの食比べ商品を開発したいね!」と意見が一致する場面もありました。商業高校だけではできないことでも、他分野の実業高校と手を携えることで、実現できる可能性が一段と上がることをこの研究発表会を通じて学ぶことができました。



都内ホテルでのオンライン発表・交流の様子

### 2つめの活動~第71回全国商業教育研究大会(東京大会)~

7月31日(月)、東京都港区にある東京ポートシティ竹芝オフィスタワーで令和5年度第71回全国商業教育研究大会(東京大会)が開催され、全国から選出された4校が活動展示・開発商品販売を行いました。ジビエ部は日々の活動内容のパネル展示と開発商品の販売を行いました。今回の出展ブースには、茨城県的那珂湊高等学校、東京都の芝商業高等学校、福岡県の博多女子高等学校の皆さんが参加されていました。各校自慢の活動を紹介し、その中で



ジビエ部出展ブース



竹芝オフィスタワー

誕生した開発商品の販売を行いました。4校の生徒たちはそれぞれが向き合っている地域課題や社会的背景、地域の良さや取り組む活動および開発した商品について紹介し合い、交流する場面も見られました。各地域により地域課題や活動目標は違うけれども、「社会をよりよくして今の生活を未来につなげたい」という想いは共通しているということを知ることができた(2年生ジビエ部員)、充実した出展となりました。

### 3つめの活動~高校生ボランティア・アワード 2023 受賞~

8月9日(水)~10日(木)、東京都新宿区にある新宿住友ビル三角広場で、公益財団法人風に立つライオン基金主催の「高校生ボランティア・アワード2023」が開催されました。オンライン発表による予選を通過した全国88校の地域活動に取り組む高校生たちが集結し、取組内容についてブース発表を行いました。

この3つの活動を通して、全国の高校生の熱い想いや47都道府県の高校生のパワーで今の社会課題が1つでも解決できるかもしれないということを知ることができました。「ジビエ利活用で陸の豊かさを守る」という目的のもと、今の活動をさらに進化させると同時に、全国の仲間たちと一斉に同じ日同じ時刻にあるプロジェクトを行おうと企画しているようです。今後の取組にご期待ください。

